

## 網走市新庁舎建設に係る説明会 議事録

説明先：新町地区

開催日時：令和元年6月11日（火）16時00分～16時50分

説明会場：新町新星町内会館

出席者：6名

### Q1. どれくらいの地震を想定して建物を建てるのか？例えば東日本大震災規模とかを想定するとか基準とかあるのか？

- 建築基準法が昭和56年に改正された。この改正により震度6・7でも倒壊しない建物とすることになっているので、これに耐えられる庁舎になる。
- 気象台の過去約100年の統計では、震度3以上が19回、震度4が3回という記録がある。震度4を超える地震の経験はない。
- ただし、熊本県宇土市の庁舎が倒壊したことがあったが、災害が少ない街と言っても備えは必要であると考えている。
- 津波災害では、モヨロ貝塚発掘調査の結果、過去1300年津波が起きた形跡は確認されていないという話もあるが、津波被害も想定して一時避難所機能を備えていきたいと考えている。

### Q2. 5条通りはなくなるということか？

- 廃道して庁舎の敷地にしたい。  
例えば、エントランス部分として庇を作って有効に活用できる方法を検討したい。

### Q3. 新庁舎以外の施設対応はどうしていくの？

- 庁舎以外の施設は代替施設があることから、一定の市民サービスは担保できると考えている。
- 総合体育館は小学校等の体育館、市民会館はエコーセンターや他町のホールを借りる、消防本部庁舎は潮見の南出張所と代替施設があるが、市役所は代替施設がない。
- 近い将来、優先度を決めて考えていかなければならないが、総合体育館、市民会館は他の関連団体の意見交換が必要となり、消防本部庁舎は大空町との協議や広域化の課題もあることから、そこを協議していかなければならない。
- そのため、今後どうするかは検討が必要であり、今すぐ決めることは難しい。